

1 入札妨害事件における全容解明、再発防止策について

- (1) 渡部修市長（本部長）が事件と関係する業務の担当職員にヒアリングを行い、その概要が示されている。ヒアリングの結果をどう受けとめているか。また、ヒアリングを一人で行った理由について伺う。
- (2) 予定価格の事後公表と漏えい問題の関連をどのようにとらえているか。予定価格の事前公表をいち早く決定した理由とメリット、デメリットについて伺う。また、県内において予定価格の事前公表をしている市・町の状況は。
- (3) 過去の入札の適正性を確認するための独自調査を行う方針を示していたが、この間の調査結果を明らかにされたい。
- (4) 職員アンケートの集計結果を公表している。全体のアンケート結果に対する評価、今後に生かすべき課題について伺う。
- (5) 前副市長は「在職中に渡部修市長から豊田図書館の設備改修工事費用を安価に抑える方法について相談された」と述べている。市長は「当時の記憶はない」と新聞報道されていた。前副市長に相談したことも全く覚えていないのか。また、この案件について前副市長から経過報告を受けていたことはあったか。
- (6) 前副市長は豊田図書館の設備改修工事について「特命随意契約を提案したが、市内部の判断で一般競争入札になった」と述べている。どこの場で協議され一般競争入札となったか、経過を説明されたい。また、前副市長の提案していた特命随意契約の件について市長は承知していたか。
- (7) 市長の任命責任については「重く受け止めている」と繰り返し述べている。処分については市長自らが条例提案をする必要があるが検討されているのか。また、なぜ市長は自ら処分しないのかという声がある。どのように受け止めているか。
- (8) 前副市長の退職金の返納を求める声がある。市長は「退職後の行為における刑事事件のため、返納を命ずるのは困難」との認識を示している。今後、返納を求める方法など検討すべきである。見解を。

2 浜岡原発について

(1) 磐田市原子力災害広域避難計画について

- ① バスなどの避難手段の確保や渋滞を含めた避難経路の対策はどのように検討され、計画されたか。
- ② 避難車両数、避難退域時検査場所の検査機能、除染機能の体制と調整はどのように検討され、計画されたか。
- ③ 要配慮者等の避難方法はどこまで検討され、計画されたか。
- ④ 避難先となる岐阜県、石川県の避難経由所の選定について具体的協議状況は。また、避難所はどこまで決まっているか。

(2) 浜岡原発再稼働における事前了解権の拡大について、市長は「範囲は国が判断すべき」と前置きしながら、再稼働前には11市町での協議が必要との見解を示している。「立地自治体」以外にも事前了解権の拡大を図るべき立場を求めるが、見解は。

(3) 浜岡原発の再稼働については、市長は「福島第一原発事故の検証がなされていない現時点においては、再稼働は認められない」との見解を示している。さらに「原発ゼロ」を求める声を地方からはっきりと示すべきと考える。見解を。

(4) 磐田市における再生可能エネルギーの普及・拡大の現状と課題、充実を図るための施策について伺う。

3 磐田市の諸課題について

- (1) 滋賀県大津市で起きた保育園児・保育士16人の死傷事故をきっかけに、保育園の散歩コースや学校の通学路の安全点検が行われている。市内における通学路の安全点検、危険箇所を解消する取り組みの現状と課題について伺う。
- (2) 小・中学校施設空調設置事業について8月から工事の実施となっている。小学校を優先するとのことだが、今後の整備スケジュール、入札方法、地域経済への波及効果について伺う。
- (3) 環境省は企業など事業者が搬出する廃プラスチックも自治体が所有する焼却施設に受け入れるよう要請する方針を固めたとある。背景と要請内容に対する対応は。
- (4) 中遠広域事務組合一般廃棄物最終処分場の建設に向けての方向がいまだに見えない。現状と課題、今後のスケジュールを示されたい。